

工業部会通信

発行元：相模原商工会議所
工業部会
編集：かながわ経済新聞
代表：千葉龍太
〒252-0239
相模原市中央区中央3-12-3
TEL：042（851）3021



横江新会長インタビュー

相模原の地域経済を下支えする製造業を中心に、満42歳以下の若手経営者で構成される「相模原市青年工業経営研究会（青工研）」の2016年度会長に横江利夫氏（旭フオークリフト社長）が就任した。4月には通常総会・総会懇親会を開催。横江会長は今年度の統一テーマとして「勝利への執着心」を掲げた。その狙いや青工研の魅力について横江新会長に聞いた。

今年度統一テーマ 「勝利への執着心」

青年工業経営研究会

「まず青工研について教えてください。」
「相模原商工会議所工業部会の下部組織にあたります。42歳以下の経営者、またはそれに準じるメンバーが集まって経営上の諸問題などを本気で討議します。『地道に自ら学ばん』を基本理念に35年以上にわたり活動しています。経営学は本を読めば分かりますが、それだけでは経営者として十分ではありません。青

工研では、仲間と本気で交流することで、自分を磨くことに重点を置いていきます。」

「具体的には。」
「青工研は社長の集まりですが、活動を通じて自身がかかたり、たくさん失敗することで学ぶ会でもあります。そうした経営者として、人と人との『芯』となる部分を磨くのです。」

「よく『社長の器は会社の器』といわれますが、

「私たちが経営者は自社の発展、つまり自社の勝利のために日々行動しています。目標を掲げた以上は何が何でも成果を出すという気持ちが必要なんです。ただ、その過程でさまざまな外的要因や想定を超えた問題も起こります。そうした壁を乗り越えられるには、執着心があるかないかにかかっています。今年度は勝利を手にする1年とし、会員全員に結果を求めていきます。」



インタビューに答える横江会長

結果がすべて敗北許されない

「私たちが経営者は自社の発展、つまり自社の勝利のために日々行動しています。目標を掲げた以上は何が何でも成果を出すという気持ちが必要なんです。ただ、その過程でさまざまな外的要因や想定を超えた問題も起こります。そうした壁を乗り越えられるには、執着心があるかないかにかかっています。今年度は勝利を手にする1年とし、会員全員に結果を求めていきます。」



相模原市青年工業経営研究会 地道に自ら学ばん

相模原市青年工業経営研究会は4月10日、相模原市立産業会館で、「第36回通常総会・通常総会懇親会」（実行委員長・小島和浩II株式会社コジテック代表取締役）を開催した。

第36回通常総会では、会員35名が出席し、2015年度事業報告・収支決算書及び2016年度事業計画書・収支予算書等について審議し、すべ

通常総会・懇親会開く 青工研横江新体制を決定

て原案どおり承認された。

会員は総会に臨むにあたり、総会資料を各自で熟読し、しっかりと質疑応答を以て全会員が納得して気持ちを固めた。

その結果、青工研らしい活発な質疑応答が行われ、会員が気持ちを一つに新たな1年間のスタートを切ることとなった。



▲意気込みをみせる藤橋工場長



▲長尺物にも対応した

東京メタルック 電着塗装を用途開拓 長尺物も対応可能に

工業部会会員の東京メタルバック（中央区南橋本、042・772・8167）は、得意の「電着塗装」で用途開拓を進める。

自動車部品の塗装などで用いられる電着塗装は、塗装液を通电させることでムラなく塗装できる技術。地域最大規模となる30トンの塗料が入る電着塗装槽を稼働させたほか、「長尺物」にも対応。既存の自動車業界

だけでなく、建設や鉄道関係などにも販路を広げていく。

電着塗装は、金属製品の塗装に用いられる。作業時間が早く、さびにくいのも特徴だ。身近なものでは、おもに自動車部品関係で採用されている。同社の工場では毎月1000種類近くの自動車部品の塗装をこなす。

■パッチ槽ライン稼働工場内には、長さ3メートルの長尺物も塗装で

きる「パッチ槽ライン」が稼働。静電塗装では難しい積層板構造の内部まで塗装できる技術もウリだ。

建材や大型の熱交換器、鉄道部品などの塗装にも対応できるとし、販路拡大をねらっていく。「モノづくりの世界でも電着塗装を知らない人が結構います。優れた特徴がある塗装技術ですので、広げていきたいです」と藤橋勝治・取締役工場長は話している。



さあ、5年後の未来を見に行こう。

新規会員募集中 近未来技術研究会

相模原商工会議所工業部会